


キャリアアッププログラム2016（2学期）講座シラバス

【ステップアップ科目】

科目名	東南アジアの資本市場	
副題	成長する東南アジア諸国経済をより深く知ってみたいあなたのために	
受講対象者	東南アジアでビジネスを展開することになったが、東南アジア諸国の資本市場についてよく分からない、成長する東南アジア諸国に投資してみたい、など、一般の報道等では必ずしも知らされない東南アジア諸国の資本市場について関心を持っている方々を対象にします。	
講座概要	アセアンをはじめとした新興国では経済成長のために資本市場の育成が大きな課題となっています。資本市場は資金の面で世界を繋ぐ役割を果たし、さらに株式市場は各国の経済構造、企業構造を映す鏡でもあります。グローバルな観点から、そして主要国を各国毎に、現地事情も含めてお話ししていきます。なお、中国、韓国等の東アジア諸国についてはアセアンとの比較対象で必要に応じて紹介します。	
到達目標	アセアン諸国を主な対象とし、その経済成長を支える金融面の実態を知ること、ビジネス展開や投資の際に、よりの確な判断が出来るようになることを目標にします。	
授業計画 および開講日	第1回 10/14(金)	アジアを含めた新興諸国の株式市場を概観する
	第2回 10/21(金)	アセアン先進国の株式市場（タイ、マレーシア）
	第3回 10/28(金)	アセアン成長国の株式市場（インドネシア、フィリピン、ベトナム）
	第4回 11/4(金)	アセアン後発国の資本市場（カンボジア、ラオス、ミャンマー）
	第5回 11/11(金)	アジアの国際金融センター競争（シンガポール、香港）
	第6回 11/18(金)	経済・金融統合に向けたアセアンの取り組み
授業の形式	座学	
授業の進め方	レクチャー中心に授業を行い、原則として毎回完結するテーマを積み上げていきます。	
教材などの追加負担	教材費の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	テーマは「資本市場」となっていますが、株式市場を中心にしつつ、経済、為替など、出来るだけ広い観点からお話しをします。新興国を見ていくには、こうした幅広い見方が必須です。また出来るだけ質問を受ける時間を設けますので、特に関心のあること、疑問点などをぶつけて下さい。	
講師紹介	 <p>糠谷英輝（ぬかや ひでき） 経済学部 経営学科 教授</p> <p>1983年慶應義塾大学法学部法律学科を卒業後、東京銀行（当時）に入行。2度のドイツ勤務に加え、調査部、国際通貨研究所で経済金融調査に従事。専門は資本市場、アジア経済、イスラム圏の経済・金融。著書は国際金融、イスラム金融等多数。日本経済新聞「十字路」執筆メンバー。調査で訪問した国は50カ国に及ぶ。2012年4月から現職。</p>	